

# 東小で取り組む環境整備活動

## 1 取組みの概要

本校は、校区が市街地の中にあるので自然と触れ合う機会がかなり少ない。そこで園芸委員会が中心となり、年に2回花壇への花の移植などを行っている。また、卒業式へ向けてパンジーやビオラなどをプランターで栽培している。昨年度も苗植えや水やりをして大事に育て、卒業式当日の会場をきれいに飾ることができた。さらに学級菜園や花壇、樹木園などでの緑化体験活動や環境整備体験をすることで、自然を大切にする豊かな心を育てている。今年度も、感染症対策を優先しながら、できる範囲で取り組んできた。さらに、学校ISOの趣旨のもとエコキャップや靴のリサイクル等、様々な環境活動を実践している。

## 2 令和5年度の活動内容

### 園芸委員会が取り組む「花いっぱい運動」

栽培活動では、園芸委員会の児童が中心となって、パンジー、ヒヤシンス、チューリップなどの苗と球根植えを行い、花いっぱい運動に取り組んできた。花壇だけでなくたくさんのプランターにも花を植え、児童玄関・職員玄関・体育館入り口などを、様々な花が彩っている。校庭の美化にも心がけ、心豊かな学校づくりをめざしている。

### 全校児童によるボランティア活動

年に2回、感染症対策を優先しながら、高学年と低学年に分かれて、校庭の石拾い、草むしり、落ち葉の片付けなどの環境整備活動を実施している。



PTA では、年に2回ガーデニングを行っているが、今年も新型コロナウイルス感染症対策で密にならないように気を付けながら、6月にはサルビア、ペゴニア、日日草を、12月にはチューリップの球根を植えることができた。チューリップの球根は、校庭東の花壇、中庭にある東小の大きな文字になぞらえた花壇に植え2階・3階からも美しく見ることができるので、来年の春が楽しみになっている。



### 靴のリサイクル

JRC 委員会が中心になって、エコキャップ集めや靴のリサイクルなどを行った。今年も児童玄関にある東小のマスコットと一緒にメッセージを置き、ZOOM を使って委員会から全校児童に協力をお願いをした。靴やエコキャップの数が目に見えてわかり、多くの児童が環境を意識した実践をすることができた。

### 取組みの見直しと及び今後の活動

- 今年も感染症対策をしながら、様々な活動を進めることができた。引き続き、全校児童による環境整備作業や低学年による花や球根植えの作業等は、社会環境や児童を取り巻く環境を考慮しながら計画・実施していく。PTAのガーデニングとクリーン作戦などの恒例行事も、周りの状況を考慮しながら一年間を見通した花いっぱい運動を計画して実施していく。
- 園芸委員会（緑の少年団）を中心とした児童主体の栽培活動を進めていき、できる範囲で花いっぱい運動の趣旨を広めて取り組んでいく。